

第9回 群馬県メンテナンス協議会 議事要旨

- 日時：平成29年3月7日（火）14：00～16：00
- 場所：群馬建設会館Bホール（前橋市元総社町2-5-3）
- 出席者：本人出席 9名，代理出席31名，オブザーバー5名
- 議事要旨：以下のとおり

議事

- 平成29年3月17日（金）記者発表資料「道路メンテナンス総力戦【第17弾】5年に1度の全数点検実施に向けた総力戦～「第9回群馬県メンテナンス協議会」の調整結果～」のとおりに

以上

記者発表資料

道路メンテナンス総力戦【第17弾】 5年に1度の点検の全数実施に向けた総力戦 ～「第9回群馬県メンテナンス協議会」の調整結果～

3月7日に開催した第9回群馬県メンテナンス協議会において調整を行い、以下を確認しました。

①全数点検実施に向けた対応方針

- ・H28末の点検実施率は60%未満、全数実施に向け総力戦として下記をフォロー
- ・点検進捗状況を各道路管理者(市町村単位)毎・道路構造物毎に把握確認行う
- ・メンテナンス協議会事務局では、点検進捗率が十分でない場合、個別支援を強化

②修繕措置の事例

- ・点検で、橋面舗装、床版下面に格子状のひび割れ、コンクリート土砂化損傷を確認。
- ・点検結果等に基づき、傷んだ部材を修繕し健全性を回復させた。
- ・仮に、点検をもせず、劣化損傷に気づかぬまま道路を使い続けた場合、ある日突然道路に穴が空き、大事故につながる恐れもある。
- ・点検や点検に基づく修繕、道路の維持管理にはこれらのメンテナンスサイクルが重要

③地域一括発注の活用状況

- ・各市町村の職員不足や技術力支援の問題解決策の一つである地域一括発注について、来年度の意向調査を進めており、市町村は活用を検討

なお、過去の協議会の状況等は高崎河川国道事務所のホームページに掲載されています。

http://www.ktr.mlit.go.jp/takasaki/takasaki_index060.html

記者発表クラブ

竹芝記者クラブ 神奈川建設記者会 刀水クラブ・テレビ記者会
高崎記者クラブ

問合わせ先

群馬県メンテナンス協議会事務局

国土交通省 関東地方整備局 高崎河川国道事務所

住所：群馬県高崎市栄町6-41 電話：027-345-6000(代) FAX：027-345-6085

副 所 長 永江 浩一郎(ながえ こういちろう) 内線：204

道路構造保全官 今 春彦(こん はるひこ) 内線：208

群馬県 県土整備部 道路管理課

住所：群馬県前橋市大手町一丁目1-1 電話：027-223-1111(代) FAX：027-243-7285

次 長 諸田 貞一(もろだ ていいち) 内線：3592

補 佐 村田 義明(むらた よしあき) 内線：3603

高崎河川国道事務所ホームページ

高崎河川国道 検索

(補足)

①全数点検実施に向けた対応方針

➤課題:点検実施割合

- ・H28末の点検実施率は、橋梁及びトンネル、道路附属物等のいずれも実施率が60%未満にとどまっている。

(橋梁:51%、トンネル:48%、道路附属物等:51%)

(参考)

＜各構造物の点検実施状況及び予定＞

道路施設	管理施設数	H26～H28 点検実施数		H29点検予定		H30点検予定	
		点検数	割合	点検数	割合	点検数	割合
橋梁	15,433	7,893	51%	3,970	26%	3,565	23%
トンネル	137	66	48%	17	12%	54	39%
道路附属物等	633	325	51%	184	29%	124	20%

➤課題に対する対応方針

- 点検進捗状況を各道路管理者(市町村単位)毎・道路構造物毎に把握確認
- 点検進捗率が十分でない場合、状況及び今後の方針の報告を受け、改善策を共有し個別支援を強化していく
- 主な個別支援策
 - ・点検残数に応じた予算計画となっているか確認
 - ・上半期に点検を数多くできるように発注手続きの契約進捗状況を確認
 - ・地域一括発注活用による点検業務の自治体職員負担を軽減
 - ・職員直営点検も踏まえ点検に必要な技術力を身につける講習会を開催
 - ・点検や診断が困難な症例に関する技術相談の実施
- 関係機関との協議調整に際し、関連する道路管理者の情報をまとめ一括協議できる体制を構築し計画的な点検を実施していく

(補足)

②修繕実施事例(相生橋の事例)

➤損傷概要

- ・平成26年度の点検で、橋面舗装に著しいひび割れ、床版下面にも遊離石灰を伴う格子状のひび割れが確認され、床版土砂化が懸念され、詳細調査を実施したところ、調整コンクリートが土砂化する損傷を確認。
- ・詳細調査結果に基づき、アスファルトを剥いで、傷んだコンクリートを撤去した後、新しくコンクリートや橋面防水、アスファルトで修繕し健全性を回復させた。



➤メンテナンスサイクルの大切さ

- ・点検を行い、傷んでいるところがあったら修繕することをメンテナンスと呼びますが、点検も修繕もせず「ほったらかし」としていたらどうなるでしょうか。
- ・仮に、点検をもせず、劣化損傷に気づかぬまま道路を使い続けていた場合、損傷が進行し、ある日突然道路に穴が空き、大事故につながる恐れもあります。

— 橋梁損傷事例写真 —



左記損傷が見られた橋梁では、床版の抜け落ちが発生



出典：道路橋の定期点検に関する参考資料(2013版) — 橋梁損傷事例写真集 —

国総研資料No.748号、2013.7、<http://www.nilim.go.jp/lab/bcg/siryu/tnn/tnn0748.htm>

- ・また、早く直せば簡単に直るものも、ほったらかしにすると重傷となってしまう、修繕に多くのお金がかかるだけでなく、安全確保ができない状況となってしまう。
- ・道路は、世の中に欠かすことのできない社会を支える大切な施設。適切なメンテナンスを行うなど大切に使い、より良い状態で後世に受け継ぐことが重要となります。

(補足)

(参考)

H29. 2時点

③地域一括発注の活用状況

- ・メンテナンスの実施主体である市町村によっては、土木技術者が少ないなどの課題があるため、点検等の業務を地域で一括して発注し、技術・体制面の支援に取り組んでいる。
- ・平成28年度は、18市町村、1,003橋で一括発注を活用した点検を実施見込み。
- ・来年度の地域一括発注については、H29.7の業務発注に向け群馬県建設技術センターが、各市町村の意向調査を進めているところである。

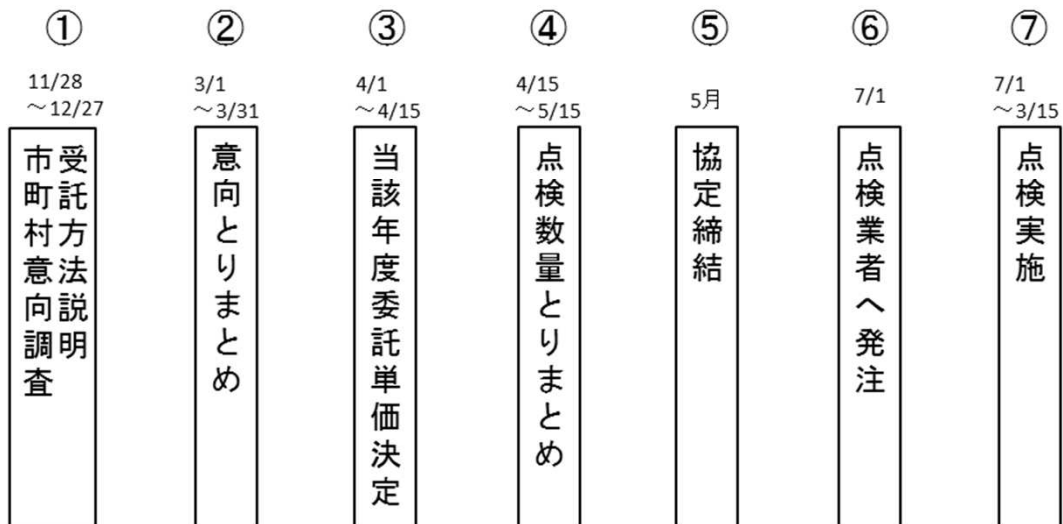
市町村名	道路橋数
太田市	197
館林市	102
渋川市	221
藤岡市	111
榛東村	35
吉岡町	47
甘楽町	25
長野原町	23
嬭恋村	12
草津町	8
東吾妻町	68
片品村	23
川場村	5
みなかみ町	20
玉村町	19
板倉町	16
明和町	32
千代田町	39
18市町村	1,003

※数値は、今後変更する可能性があります。

(参考)

【手続きの流れ(予定)】

- ・群馬県建設技術センターにて市町村の意向調査を実施し、点検数量をとりまとめた上で、点検業者へ発注

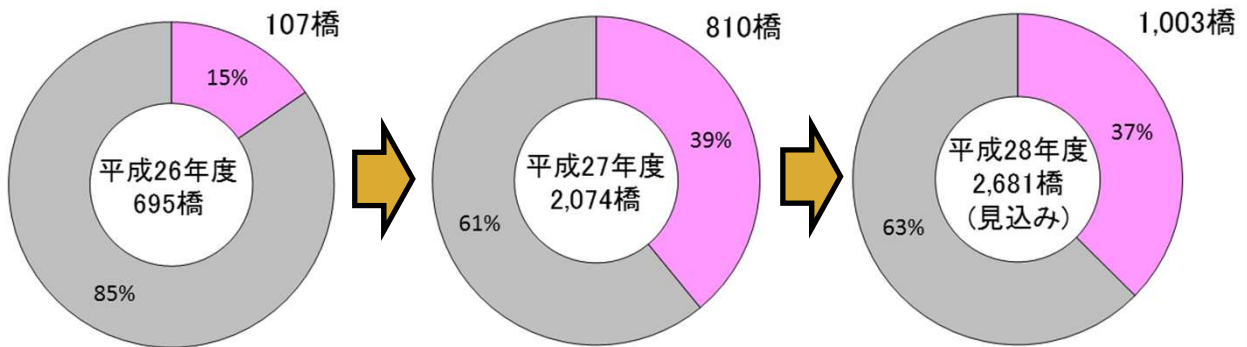


(補足)

○点検橋梁数

地域一括発注の活用状況は、平成26年度は、全橋梁点検数の15%（107橋）であったが、平成27年度は、39%（810橋）、平成28年度は、37%（1,003橋）と全橋梁点検数の約4割まで着実に伸びている。

(参考)

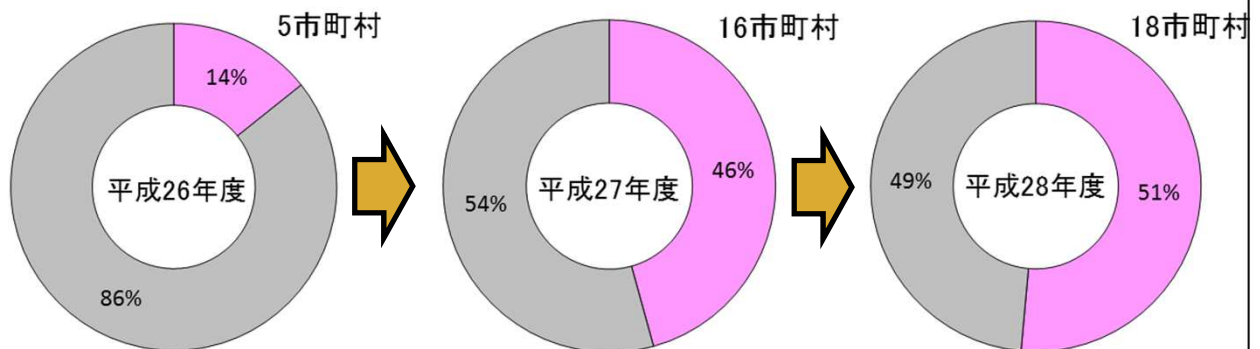


点検橋梁数の活用割合

○市町村の活用状況

地域一括発注の活用市町村数は、平成26年度5市町村（14%）、平成27年度16市町村（46%）、平成28年度18市町村（51%）と全市町村数の半数を超える実績となっている。

(参考)



市町村の活用割合